

**小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表**

法人名	社会福祉法人 泰斗福祉会	代表者	近藤 浩之	法人・ 事業所 の特徴	<基本方針> 1. 私たちは、利用される方々の生活をスタッフが一丸となって支え、共に笑顔のある毎日が送れるよう支援します。 2. 私たちは、人が集まり、支え合い、開放感のある時間を共有して誰にも開かれた当たり前の生活を地域の皆様とともに創っていきます。 3. 私たちは、常に利用される方々の立場に立って絶え間なく考え、挑戦し、“そこへ行けば、何とかしてくれる”と誰にも思っていただけるようなサービスを提供します。					
事業所名	小規模多機能 にじいろ	管理者	須賀 賢二		1人	4人	1人	1人	3人	2人

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	4人	人	1人	1人	人	3人	2人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニカンファレンスを月に2~3回開催する。</li> <li>退出職員が来た時点でその日の申し込みを行う。</li> <li>話し合い時には、伝えるべき内容を正確に伝え、また、相手に伝わっているか確認し合いながら進める。</li> <li>毎月行われる職員会議で運営内容や課題について話し合い、それらを運営推進会議で報告する。また、運営推進会議で出た意見を職員会議にて報告し検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンスや職員会議で話し合い、職員みんなで情報共有に努めることが出来た。決定したことや変わったことは申し送りノートを使い情報のモレがないようにしたが、ノートに書けていないことがあった。</li> <li>話し合いでは確認を繰り返し行い、仕事内容にズレが生じないように努めた。</li> <li>運営推進会議内で事業所の取り組みが十分に報告出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのように改善していったか経緯や内容が分からなかった。</li> <li>前回の取り組み内容が把握できていないので記入出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝のミーティングの時に情報共有、意見交換を行い、ケア内容や関わった結果をその日のリーダーがまとめ次の夜勤者に申し送り、次の日の勤務者にも伝達するように繰り返していく。</li> <li>スタッフ同士で声掛けを行いながら記録を行う。夕方にリーダーが記録内容を確認し不足分はリーダーが責任を持って情報収集を行い記録を補う。</li> <li>運営推進会議で事業所の取り組みを報告していく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>入口のパーテーションはしないようにする。徘徊のある利用者に付き添い、フロアを離れる際には見守りや介助を適切に行う。また、利用者の状態を日頃から観察し、本人が安心できる対応を心掛ける。</li> <li>研修は勤務表の中に入れ必ず参加できるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーテーションを除去することによって自由に入り出しが出来るようになり、事業所の中だけで過ごすのではなく、施設内や屋外に散歩する機会が増えた。</li> <li>フロアの大きな机を小さな机に変更し、配置を変えることで利用者同士の視線の逃げ場を作ることが出来た。</li> <li>勤務表で研修を位置づけることで確実に研修に参加できるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーテーションをしていたのはいろいろな理由があったのだと思う。戸を開けていると外の動きが気になって利用者が落ち着かなくなる、あまり刺激がないようにと配慮があったのかと思うが、それが適切かどうかを考えるとそうでないと判断された。</li> <li>実際に事業所の中を見たのは初めてだ。</li> <li>利用者の表情が穏やかで安心感を抱いているように見える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風呂場の入り口を、「入りやすさ」「行きやすさ」「楽しさ」を感じてもらえるように工夫する。</li> <li>事業所のフロアの奥にあるスペースを利用者が活用できる場にする。</li> </ul>

C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者一人一人のケアプランに地域の人達と交流できる機会や場面を盛り込む。</li> <li>利用者の家族にも声をかけし、地域交流の場に参加してもらう。</li> <li>地域交流の場に職員が交代で参加し、来られている方と話をしたり、少しでも顔と名前を覚えてもらえるような働きかけを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェを積極的に利用し地域の方と交流できる機会を増やした。実際に昔からの知り合いの方に声をかけて頂き近況を話し合う場面があった。</li> <li>利用者の家族もカフェに来られ、自宅以外で本人と一緒に過ごす時間を持つことが出来た。</li> <li>職員が交代で地域交流の場に参加し少しは顔を見て頂けたが名前を覚えてもらうまでには至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋祭りへの参加は把握しているが、それ以外の参加は知らない。</li> <li>事業所の職員かどうか見分けがつかない。</li> <li>5月の水路清掃、9月の祭り前の道づくりは日曜日なのに（法人全体で）十数人毎年参加してくれる。11月の合同防災訓練にも参加してくれる。お世辞でなくきちんと参加してくれていると認識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェの活用、職員の参加は継続する。</li> <li>北条地域の月間予定や回覧板を活用し参加できるものを検討していく。</li> <li>管理者だけでなく介護職員も北条地区の調整会議の研修に参加していく。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の家族とカンファレンス時、エコマップなどを利用しながら、利用者が近所の誰と仲良かったのか、どういう関わりをしていったかなどを聞き取り、その方達と本人が話せる時間を作れるよう家族と協力する。</li> <li>事業所の所在地域内の危険場所などについて、送迎時に職員が気付いたこと等ヒヤリハットについて記録を行う。（地域ヒヤリハットマップ作製） ※散歩など外出時にも活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の自宅の近所の方との関係性は家族に協力してもらい把握に努めたがエコマップを活用できなかった。</li> <li>地域ヒヤリハットマップの作成が出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の内容自体が分からなかった。</li> <li>エコマップとは何か分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家から外に出た後に、自分で家に帰れなくなる可能性がある利用者の自宅周辺の商店に利用者情報を提供して、何か困りごとがあれば事業所に連絡してもらうようにする。</li> <li>連泊で自宅に帰れていない利用者を、家族の協力を得て自宅に帰る機会がもてるよう相談していく。</li> <li>地域ヒヤリハットマップを作製する。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議で出された意見はすぐに職員で話し合う。また、地域の方から介護の事などなんでも相談してもらえる事業所になれるよう、職員個々が自ら挨拶し事業所のサービス内容の説明や相談に乗れる関係作りを心がける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議で出た意見は職員に伝えて話し合うようにしていた。</li> <li>介護の事について質問を受けることがあり、その都度丁寧に説明することが出来た。</li> <li>挨拶は一人一人が気を付けて行えていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2ヶ月に1回の運営推進会議には参加している。</li> <li>事業所に入りやすい雰囲気で良い。</li> <li>職員みんなの挨拶が最高。黙ってスッと通る人はいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議で事業所の取り組みを報告し、意見を求め、よりよいものに出来るようにしていく。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず、新しく入職した職員に防災、災害対策を知ってもらうべく、事業所の避難計画書及び地域の防災について勉強会を行い、合同防災訓練に参加してもらう。</li> <li>運営推進会議で事業所の避難計画や訓練内容等について説明し、必要な助言を受ける。（年1回は実施）</li> <li>合同防災訓練を行う際には、事前に菅木地区の住民に参加案内の広報を行う。（回覧板、組長会資料等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入職員が今回の合同防災訓練に参加できなかった。</li> <li>運営推進会議において事業所の避難計画や訓練内容等について説明できておらず、助言を受けることが出来なかった。</li> <li>合同防災訓練の案内はきちんと行えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同防災訓練に（法人の職員が）きちんと参加してくれる。お世辞でなくきちんと参加してくれていると認識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の避難計画や地域の防災に関するこを職員会議で話し合い、有事にきちんと対応ができるようにする。</li> <li>参加したことがない職員が参加できるように勤務調整し合同防災訓練に参加する。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月27日（14：00～16：00）
------------------	-----	------------------------

1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川
-------------------	------	------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？		7人	1人		8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期の関わりが大切だと認識している為、フェイスシートを活用して事前に情報を共有する事を継続する。</li> <li>職員会やカンファレンスを開催し、改善点やケアについて、ご家族の意向について取り上げて職員全員が話し合う機会を増やす。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に情報を共有するように努めていたがフェイスシートの作成が遅い時があり、職員全員への周知が滞ることがあった。</li> <li>話し合う機会は多く持てたが、内容が不十分で共有するまでに至らないことがあった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		4	4		8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		5	3		8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか？		3	5		8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	5	2		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に1度の夜勤者以外での職員会や朝のミーティングの開催で情報の共有し、改善点やケアのポイントについて話し合うことが出来た。</li> <li>体調の変化について家族に報告や相談をし対応が出来た。</li> <li>本人が慣れていない時には不安がないか確認し、訴えを聞くことが出来た。</li> </ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスシートがうまく活用できずニーズやケアすべき点が分からなかったことがあった。</li> <li>利用者と向き合い関わることが不足していたことがあった。</li> <li>利用開始前にフェイスシートを見ることが出来たが、その後のミーティングが出来なかったことがあった。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスシートは迅速に作成し、それ以前の段階で知り得た情報は小出しでも伝達できるようにする。</li> <li>朝のミーティングの時に新規利用者についての情報共有、意見交換を行い、ケア内容や関わった結果をその日のリーダーがまとめ次の夜勤者に申し送り、次の日の勤務者にも伝達するように繰り返していく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月27日（14：00～16：00）
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	4人	4人	人	8人

前回の改善計画

- ・ご本人それぞれの「～したい」の要望を聞き、「～したい」を実現する。
- ・カーデックスに書いてある利用者様個人個人のしたいことを把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者の要望や意向を汲み取り、それをかなえられるように努めたが、本当のニーズであるのか不明なことがあった。
- ・利用者それぞれのしたいことを把握する根拠が不明確で、十分な対応が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		3	2	3	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？		5	3		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		3	5		8
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	5	2		8

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・実践した内容を職員会議で話し合い、具体的な反応や結果を共有することが出来た。
- ・関わりの中でやりたいこと、好きなことの情報を得て、できる限りの対応は出来た。
- ・利用者の意思を尊重し、出来ること、したいことを継続することが出来た。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・日々の「～したい」を上手に聞き出せていないことがあった。
- ・利用者のニーズについて全てを把握することが出来なかつた。
- ・レクや対応、会話などがいつも一定で同じことだけになることがあった。

次回までの具体的な改善計画

（200字以内）

- ・プランをきちんと把握しその方の生活歴や人となりを知った上で、一人一人の「～したい」ことを実現できるようにしていく。
- ・利用者の担当スタッフを中心に、日々の関わりの中で「～したい」ことが実現できているかチェックし続ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年1月27日(14:00~16:00)
3. 日常生活の支援	メンバー 須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	2人	人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の小さな気付きをこまめに職員ノートや日々の記録に残す。出勤後、前日までの記録を読み返し、疑問や分からぬ箇所を把握する。解決した事を記録にケース等の記録に残し、日々のケアに活かす。</li> <li>職員会で日々のケース記録などで気付いた事や、気になることは話し合うようとする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の体調の変化や小さな変化などケース記録に残しミーティングで共有する事が出来た。</li> <li>職員ノートを出勤時に確認し、利用者への対応方法の変化に対応できた。</li> <li>職員会議やミーティングで話し合うことが出来た。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	5	1	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	6			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	5		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		8			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		6	2		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の体調や気持ちにあわせて支援することが出来た。</li> <li>体調の変化や気持ちの変化などケース記録に残し、職員会議やミーティングの時に話し合うことが出来た。</li> </ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前の暮らし方の把握が十分でなく、本人のニーズが理解できないことがあった。</li> <li>本人の声にならない声の吸い上げが不十分であった。</li> <li>ケース記録の内容が不十分なときがあった。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期の段階で家族や本人に情報収集を行い、以前の暮らし方の把握に努める。サービス利用中の関わりの中で得た情報も記録に残し、情報を共有する。</li> <li>スタッフ同士で声掛けを行いながら記録を行う。夕方にリーダーが記録内容を確認し不足分はリーダーが責任を持って情報収集を行い記録を補う。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月27日（14:00～16:00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	2人	1人	8人

前回の改善計画

- ・送迎や訪問時ご家庭での日常生活の状態や変化を記録に残す事を継続する。
- ・ご本人が住んでいる地区的民生委員さんとこまめに連絡を取り、利用者様の状態報告などに努め、いつでも連帯が取れるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・送迎や訪問時ご家庭での日常生活の状態や変化を把握し記録に残す事が出来た。
- ・地区的民生委員が誰かわからなかつたので連絡を取り合うことが出来なかつた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		4	3	1	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		3	4	1	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		2	6		8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？			5	3	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の生活にあわせて送迎時間を工夫したり訪問する時間を調整出来た。
- ・自宅での様子をケース記録に残す事が出来た。
- ・生活保護の利用者のワーカーとの連携はとることが出来た。
- ・サービス利用でない日に安否確認の電話をすることで自宅でどのように過ごしていたか把握に努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・民生委員との連携や地域の資源の活用が把握が不十分なため出来なかつた。
- ・事業所の関わりがない時間に本人がどのように過ごしているか、独居の利用者の方は特に把握しづらかつた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・送迎や訪問時のご自宅での生活の状態や変化を記録に残すことを継続する。
- ・利用開始時に家族や本人に民生委員や地域との関わりを正確に把握し、住んでいる地域との関係性が断続しないように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年1月27日(14:00~16:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー 須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	4人	1人	8人

前回の改善計画

- ・連泊宿泊利用者ご家族に今後についての意向を確認し、希望や介護度等状態に応じて特養入所を提案する。
- ・また、利用者様のご家族に普段から細やかに連絡を取り、何でも相談してもらえるような関係になるよう日々努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・特養入所などでサービス利用終了となり連泊利用者の数を減らすことが出来た。
- ・家族から特養入所の相談があったときに特養と連携を図りスムーズに入所につなぐことが出来た。
- ・急な通いや泊りの追加や変更の希望にも対応することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけでは支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	3	2	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	2	4		8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	5	2		8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?		5	2	1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の体調の変化にあわせて、訪問から通いへ、通いから泊りへの変更に対応することが出来た。
- ・利用者の変化について職員同士で共有する事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・訪問する機会が少ない。
- ・本人や家族との今後についての話し合いが不十分で連泊が解消できていない。
- ・地域の方や家族と会話する回数が少ない。
- ・地域の資源が把握できておらず活用出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・自事業所だけではなく法人内外の他事業所と連携を図り、本人や家族が希望されたり状態が変化した時に適切なサービスが提案できるようにする。
- ・利用者の家族と密に連絡を取りながら、スタッフ自身のことを家族に認知してもらいながら関係性を深めていき、困りごとの相談が気軽にできるように信頼関係を構築していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年1月27日（14：00～16：00）					
6. 連携・協働		メンバー 須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川				
<b>◆前回の改善計画に対する取組み状況</b>						
個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	2人	4人	2人	8人
前回の改善計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者が住んでいる地域も含めて様々な活動やイベントの情報を収集し、計画を立てる。職員が交替で参加する。</li> <li>・また、地区の方に名前や顔を覚えて頂けるよう、普段から挨拶や小さな会にも行くようとする。</li> </ul>				
前回の改善計画に対する取組み結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催されるいきいきカフェに職員が交代で参加している。</li> <li>・日頃より近隣住民の方にはこちらか挨拶することを心掛けている。</li> </ul>				
<b>◆今回の自己評価の状況</b>						
個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人數）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	3	3	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	4	3	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	3	3	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2	5	1	8
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきカフェには毎月職員が参加し、参加出来る時には利用者もカフェに訪れている。</li> <li>・管理者は毎月開催される包括主催の北条サービス調整会議に出席している。</li> <li>・餅つきや地方祭など地域住民とのイベントに参加したり、苞木地区の清掃活動に参加出来ている。</li> <li>・隣接するもりもりキッズの園児たちとの交流が継続している。</li> <li>・事業所に知り合いの方の訪問や、カフェで以前住んでいた地区の知り合いの方と交流することが出来た。</li> </ul>						
できていない点		200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や自治会への具体的な参加は出来ていない。</li> <li>・北条サービス調整会議は管理者のみ出席しているがそれ以外の職員は参加出来ていない。</li> <li>・地域の活動やイベントについての情報収集が不十分である。</li> </ul>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北条地域のイベントを把握するため、月初めに新聞に出る月間予定を活用したり、回覧板で流れてくる情報を収集することに努め、参加できそうなイベントを検討していく。</li> <li>・地域の方々にスタッフの顔や名前を覚えて頂けるよう、法人のカフェに参加したり、北条地区の調整会議の研修に参加していく。</li> </ul>						

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年1月27日（14：00～16：00）
7. 運営	メンバー 須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	4人	3人	1人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議やご家族から出た意見や苦情を職員会議等で振り返り、業務改善に反映していく事を継続する。</li> <li>風早の家に提出されている苦情報告書をにじいろに持ち帰り、にじいろの職員に周知する。</li> <li>にじいろを認知して頂く為に、地域と交流する機会を増やす。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見や苦情を真摯に受け止め、内容を検討して改善するようにしている。</li> <li>風早の家に対する苦情とその改善策を職員全員に周知することが不十分であった。</li> <li>カフェを積極的に利用することで地域との交流を図ったが、それ以外の交流する機会は多かったとは言えない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言えることができていますか？	1	4	3		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5	3		8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		4	3	1	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		2	4	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議やその他の会議で事業所の特徴やあり方などを伝えることが出来た。</li> <li>利用者や家族からの意見や苦情を真摯に受け止め、改善するように努めた。</li> </ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情自体が上がりにくいくらい体制</li> <li>事業所への苦情などは把握し注意して対応することができたが、風早の家全体に対してどのような苦情があがり、どのように検討されているのか把握できないことがあった。</li> <li>積極的に地域と協働した取り組みが出来たとは言えない。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や利用者と信頼関係を構築し、苦情や相談を言いやすい環境をつくったうえで困ったことなどないか確認する。</li> <li>事業所への苦情は日々のミーティングや職員会議でスタッフと共有し対応を考える。法人や他事業所への苦情内容や対応策についてもスタッフで情報を共有していく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月27日（14：00～16：00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	4人	4人	人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の研修年間スケジュールを立て、資格取得や研修参加等研鑽に努め、スキルアップを図る。</li> <li>毎月の勤務表の中で研修に参加する日を設定する。</li> <li>職員各個人で目標シートを活用し、各自で自覚し、スキルアップに取り組む。</li> <li>ヒヤリハットの様式を工夫して、職員が小さな事でも記入し、分かるように配置する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の年間スケジュールは予定通りの実施には至らなかったが、変更して誰かが代わりに参加することが出来た。また研修は勤務時間に組み込み参加するように出来た。職場外の研修の参加が少なかった。</li> <li>個人シートの活用が不十分であった。</li> <li>ヒヤリハットの様式を途中で改善し、記入しやすくなった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		4	4		8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4	3	1	8
③	地域連絡会に参加していますか		1	3	4	8
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		3	4	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員によってはスキルアップのための研修に参加することが出来た。 ・ヒヤリハットを活用し、情報を共有することが出来た。 ・ヒヤリハットは小さな気付きでも記入することが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職場外の研修にあまり参加できなかった。 ・地域連絡会は管理者のみ参加でしたが、それ以外の職員は参加できなかった。 ・ヒヤリハットの記入が疎かになってしまったことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・それぞれスタッフ個人の目標に合わせた研修スケジュールの計画のほか、その都度案内が来る研修については各個人のレベルに合わせて個別に参加を勧めていく。 ・ヒヤリハット報告書は提出されしばらくは朝のミーティングで発表し、対応策も含めて情報を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月27日（14:00～16:00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	須賀・加藤・杉森・森・樋口・鎌田・渡部・平川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	2人	人	8人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議や研修に参加し、身体拘束の適正化防止について継続して振り返る。</li> <li>職員会で自分がしたり、言ったりしたことなども振り返りみんなで話し合う時間を作る。</li> <li>虐待や身体拘束について知識を深める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議の時に身近な例を挙げて話し合う機会を持つことが出来た。</li> <li>研修に参加が出来なかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	3	3	2		8
②	虐待は行われていない	3	4	1		8
③	プライバシーが守られている		7	1		8
④	必要な方に成年後見制度を活用している		4	3	1	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	5	2		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待について職員会議で話し合う機会を持つことが出来た。 ・個人情報の取り扱いやプライバシーに配慮するよう注意できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待についての研修に参加が出来なかった。 ・成年後見制度について理解が出来なかった。 ・スピーチロックを行うことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・虐待の芽チェックリストを用いて定期的にチェックし、職員会議などで振り返りを行う。 ・成年後見制度、身体拘束、虐待、プライバシーの保護について職員会議で研修を行い意見交換を行う。	